

第 3 回 添川小学校学校運営協議会記録

令和 7 年 2 月 2 5 日（火）

1 3 : 1 5 ~ 1 4 : 4 5

協議等の内容

（1）令和 6 年度の学校経営評価について 教頭・校長

（教頭より学校評価の資料に沿って説明）

- ・ 文章評価のところ、「行事が集中している月がある。平日の行事は休みが取りにくい。」という意見が複数あった。来年度の計画では集中しないように、休みやすいところに、と考えていきたい。
- ・ 来年度も親子研修会の時にはメディアについて学んでいきたい。

（地学協員：協議会委員からのアンケート結果について）

- ・ おおむね良い評価をいただいている。
- Q 7 月と 1 2 月の比較なども示してくれるとよいのでは。
- A 顕著なものについてはグラフ横の吹き出しで比較を示している。
- ・ いい評価だ。素晴らしいと思う。
 - ・ 地域の見守り、ありがたい。児童と地域住民との挨拶やコミュニケーションにつながっている。下校時には低学年だけになる時がある。熊鈴が聞こえたら声がけなどしてほしい。
 - ・ SNS の問題は親が気づきにくい。親子一緒に気を付けることを考える研修は必要だ。
 - ・ 見守り隊は、良かった。学校ボランティアの方々に感謝。

（2）7 年度の学校経営について 校長 （以下の 7 点等を説明）

- ・ アンダーラインの部分が来年度の変更点。キーワードの「自分事」については年度初めに新任者へ、キーワードにこめられた思いを伝え確認する。
- ・ 来年度は複式学級が 1 学級になる。統合前年度による職員の 1 名加配が見込まれているが、そうなれば授業はできるだけ単式で行いたい。
- ・ 手ノ子小との合同学習は踏襲したい。
- ・ 運動会について。保護者アンケートの自由記述欄で、別日に徒競走をしたことについて「運動会当日に徒競走もできないか」という意見があった。工夫すればいっしょにできるかもしれない。地域も学校も時間短縮する工夫を考えたい。
- ・ 田植え・稲刈りについて。田んぼの先生より機械を使った田植え・稲刈り体験について提案をいただいております、実施について前向きに考えている。
- ・ 社会福祉協議会から、総合的な学習で福祉体験学習の提案を受けている。5・6 年は田んぼの体験があるので、3・4 年ならよいのではと話している。来週打ち合わせがある。
- ・ 今後に変更点があれば、7 年度の第 1 回学校運営協議会で提案させていただく。

Q 単式授業とはどういうことか。

A 来年度の 3・4 年生が別の教科担任から国語などの授業を受けること。

Q めざみ学習とはどういうことをしているのか。何学年がしているのか。

A 町内の 4 つの小学校の児童が集まり、年に 1 回集まって学習している。5, 6 年は陸上教室。4 年は山形見学。3 年は町めぐり。1・2 年はそれぞれレクのような交流学習を行っている。

- ・ 田んぼの機械化について。稲刈りの残りは大人がやって大変だった。稲刈りは機械と手刈りの両方をできるのではないか。

Q 運動会は来年度も午前中だけか？前は昼食をとり、午後も実施していたが。猛暑対策として開催時期を10月にずらしたわけだが、午後もできないか。

A 低学年児童等の体力的な負担を考えると午前のみで良いのではと思う。半日になって良かったという地域住民の声もあると聞いている。

- ・ 添川小学校が令和7年度末に閉校となることは事実。公民館としては、来年1年は趣向を凝らした合同運動会にしたいと思っている。昼は芋煮でもやりたいなという声が出ている。でも、実行委員をたててやるわけなので時間をいただいて検討したい。
- ・ 複式解消はありがたい。上代では運動会の日に地域で芋煮会をすると聞いたことがある。場所と時間を空けると大変なので、流れに沿ってできるとよいのでは。
- ・ めざまし学習の活動状況が地域、保護者にあまり伝わっていないようだ。めざまし学習でこのようなことをしたという知らせがあるとよいのでは。
- ・ 先ほど、手ノ子小と一緒に行った学習についての報告があった。三校一緒に学習を行ったほうが良いのでは。不安を解消できる取り組みをお願いしたい。
- ・ 公民館で3月に未来塾のワークショップがある。将来添川小学校がなくなったら、大きめの田んぼを使って地区内、地区外の方で稲作をできないかという話になっている。

○ 令和6年度報告と7年度計画について……承認をいただいた。

(3) 児童の様子について (情報交換)

- ・ 田んぼ、里芋、しめ縄飾り等の活動時に指導者として学校に来た。学校の統合までは続けたい。子どもの姿が見えるとパワーをもらえる。合併になるスクールバス通学となり、子どもの登下校の姿が見えなくなるので寂しい。
- ・ 統合後にバス通に変わり、姿が見えなくなると悲しい心情はわかるが、停留所と家の間は子どもの姿が見える。そこで元気をもらってほしい。
- ・ 松原では育成会の皆さんに協力してもらって行事をやっている。温泉祭りの踊りの練習は3回ぐらいやった。
- ・ 11月～12月にそば打ちを地区内で行った。子ども達と打って食べる。松原にも指導者がいる。地区内にいる人には無料で食べてもらっている。今年は中学生も来た。今後小学校はどうなるのか。育成会もどうなるのか。温泉祭りの参加の仕方も含めて考えていきたい。
- ・ 二小に行くと子ども達との関わりが少なくなってしまうのではないかと心配もされるが……。学校が統合になっても地域との関わりはなくなるだろう。継続していきたい。
- ・ 素直な子ども達である。公民館がいままでやってくれたように子どもとのパイプを大切にしてほしい。
- ・ 添川の子は発言力が乏しいのではないかと考えていたが、今の子は1年生から6年生まで、感想を求められてもすぐに言える。素晴らしい。昔だったら「同じです。」と言っていたと思うが、今の子は、それぞれに何か考えている。運動会のよさこいソーランの一条乱れぬ姿も素晴らしかった。頼もしい。教師と子どもの関係性もなれ合いではなくいい関係性だ。
- ・ 自分が生まれ育った集落が初めてのコミュニティ。それぞれの集落で工夫している。伝統的な動きをこれからも大事にしていく。集合体の東部地区公民館が頑張っていきたい。
- ・ 学校がなくなると全部なくなると心配している人がいる。継続できるものは今後に残していくということを聞いて安心した。

(4) その他 なし